SEKI BUSINESS REPORT

第73期 中間報告書

2021年4月1日～
2021年9月30日

セキ株式会社
中・長期経営計画「Next200」

Next200 2017-2025-2035

証券コード：7857

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当社グループの第73期（2022年3月期）中間連結決算におきましては、財務ハイライトに記載の通り前年同四半期に比べ増収増益という結果となりました。当社グループが属する業界においては、徐々に経済活動が正常化しつつあるものの、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、主要顧客のデジタルシフトが急加速することで紙への印刷需要が大きく減少しております。

当社グループにおきましては、アフターコロナを見据えた事業に注力することで、今後の時代の変化に対応していきます。中長期経営計画「Next200」に掲げております環境配慮型経営を軸とした事業を強力に推進しており、二酸化炭素を大幅に削減する水性フレキソ印刷加工事業においては、環境政策を重視するブランドオーナーに向けた軟包装パッケージの提案を強化し、受注拡大に努めております。

また、脱プラスチックの動きも大きくなっていることから、軟包装パッケージから紙パッケージへの提案を行うとともに適正管理された森林木材による製品であることを証明するFSC認証紙の拡販等、顧客のニーズに合わせた環境配慮型商品の提案・販売を強化しております。Webや動画といったデジタル分野での受注は堅調に増加しており、デジタルマーケティングやデジタルプロモーションといった新分野へ対応するための組織体制を強化しております。また、より効果的な広告プロモーションを提案するため、顧客データに基づいた販促提案を行うデータマーケティング分野も新たな強化分野に設定し、既存のプロモーション施策に加え、顧客へより効果の高いデジタルプロモーション提案ができる体制を構築しております。昨今、ニーズが高まっている各分野でのDX（デジタルトランスフォーメーション）においても、顧客ニーズに合致した多様な提案が自社でできるよう全社推進テーマとして取り組んで参ります。

株主の皆さまにおかれましては、今後もなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
関　宏孝

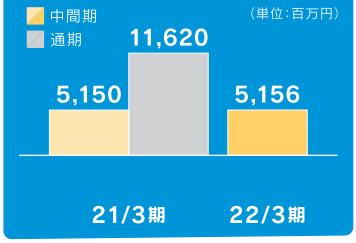
中間配当金
12円

1株当たり四半期純利益
22円07銭

財務ハイライト（連結決算）

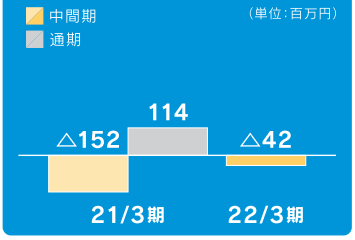
売上高

5,156百万円　前年同四半期比較 +0.1%



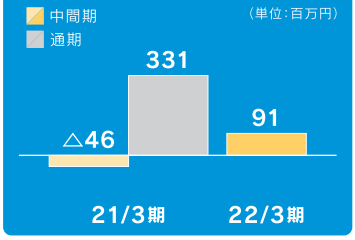
営業利益

△42百万円　前年同四半期比較 +110百万円



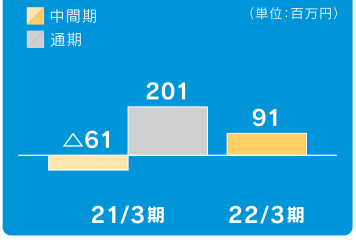
経常利益

91百万円　前年同四半期比較 +137百万円



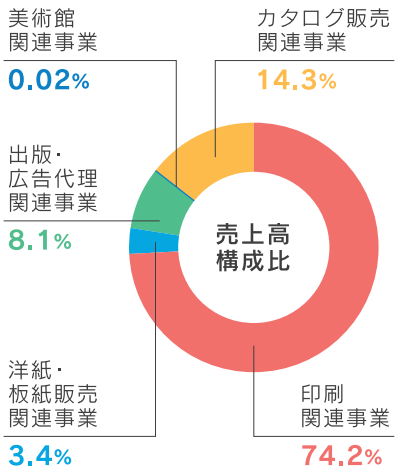
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

91百万円　前年同四半期比較 +152百万円



※収益認識会計基準による影響額△272百万円

セグメント別の概況



印刷関連事業 コロナ禍における経済活動を支援する各種補助事業の事務局運営の拡大や、アフターコロナを見据えた営業活動への取り組みを強化。

- ▶ 売上高　38億2千6百万円（前年同四半期比3.0%増）
- ▶ 営業損失　6百万円（前年同四半期は7千4百万円の営業損失）

洋紙・板紙販売関連事業 昨年度の需要減の反動による印刷事業者からの用紙受注が増加。

- ▶ 売上高　1億7千2百万円（前年同四半期比7.8%増）
- ▶ 営業損失　1千7百万円（前年同四半期は2千8百万円の営業損失）

出版・広告代理関連事業 新型コロナウイルス感染拡大による企業の広告出稿の抑制、各種イベントの延期等により減収。

- ▶ 売上高　4億1千6百万円（前年同四半期比9.5%減）
- ▶ 営業損失　3千6百万円（前年同四半期は6千3百万円の営業損失）

美術館関連事業 新型コロナウイルス感染拡大により臨時休館を余儀なくされたが、セキ美術館がある道後温泉地区を訪れる観光客が戻りつつあり増収。

- ▶ 売上高　114万円（前年同四半期比28.9%増）
- ▶ 営業損失　1千2百万円（前年同四半期は1千2百万円の営業損失）

カタログ販売関連事業 巣ごもり需要の拡大により、個人向けの商品販売が伸張したこと、収益認識会計基準を適用したことにより減収増益。

- ▶ 売上高　7億3千9百万円（前年同四半期比9.2%減）
- ▶ 営業利益　3千1百万円（前年同四半期比21.4%増）

セキのSDGsへの取り組み強化

伊予工場 CTP 無処理刷版へ移行

伊予工場1台のCTPを無処理版へ移行しました。これにより現像液、廃液の量が減り、**環境負荷の削減**に繋がりました。また、来年には全てのCTPを無処理版に移行する予定です。



GPマーク普及準大賞 受賞

印刷産業の環境負荷削減を推進する「グリーンプリンティング」の普及に貢献したことが評価され、**「2021GPマーク普及準大賞（オフセット印刷部門）」を受賞**しました。
今回は全国の認定工場312工場で上位9社が選定され、認証取得2年目の当社が受賞するのは快挙です。

CO_2を削減する水性フレキソ印刷の新製品

SEKI BLUE FACTORYにて、霧島シリカ水源株式会社様の「天然水ラベル2種（500ml、2L）」と、エフピコチューパ株式会社様の「サラトリオ」の、2種類の**新製品製造を開始**しました。



むぎからシリーズアメニティ包材の紙パッケージ化

環境配慮への意識が高まり脱プラ・減プラの動きが加速する中、**プラスチックフィルムの代替品**としてヒートシール紙を使用した**アメニティ包装の商品化に成功**しました。89%のプラスチックが削減され、環境負荷の軽減に繋がりました。また、発売後反響が大きく、他のアイテムにおいても採用が決まるなど展開が広がっています。



トピックス

「愛顔の安心飲食店認証制度」事業

愛媛県が定める感染症対策基準を順守する飲食店の認証制度「愛顔の安心飲食店認証制度」が創設され、当社が認証店普及拡大を図るための事務局業務を愛媛県から受託しました。2021年5月に事業を開始し、2021年11月現在で約990店舗を認証しています。

えひめ食べる通信のエリア拡大

2019年11月に創刊した、食べもの付き情報誌「えひめ食べる通信」が、2021年9月より高知へとエリアを拡大し、「えひめ・こうち食べる通信」としてリニューアルしました。愛媛、高知両県のつくる人と食べる人をつなぎ、食とそれらを取り巻く魅力ある人たちを発信していきます。



SEKI BLUE FACTORY空調新設工事

SEKI BLUE FACTORY 倉庫部に、受注したシュリンクラベル製品の品質を担保するため、空調設備を新設しました。これにより、年間通じて倉庫内の温度管理が可能となりました。



リモート校正システム「Remo-zo」の利用拡大

リモート校正システムである「Remo-zo（リモゾー）」の積極的な活用を行っています。新型コロナウイルスの感染対策、生産性の向上に大きく寄与しており、6月から11月までで、計164件のRemo-zo運用を実施しました。そのうち校正出力無しの完全Remo-zo運用は、23件（同得意先含む）となっています。



会社概要・株主優待

会社概要

商　　号	セキ株式会社
松山本社	愛媛県松山市湊町七丁目7番地1
東京本社	東京都渋谷区代々木三丁目2番8号
設　　立	1949年3月31日
資 本 金	1,201,700千円

■ 自社オリジナルティッシュペーパー 1ケース（20箱）
対　　象：3月末日現在、1,000株以上保有の株主様
贈呈時期：7月上旬


自社オリジナルティッシュペーパー

株主ご優待制度

■「セキ美術館」ご招待券
対　　象：3月末日及び9月末日の株主様
贈呈時期：3月末日現在の株主様　6月下旬
　　：9月末日現在の株主様　11月下旬

持株数	ご招待券贈呈枚数
100株以上	2枚
3,000株以上	4枚


「セキ美術館」ご招待券

■ 自社カレンダー 1部
対　　象：9月末日現在、100株以上保有の株主様
贈呈時期：11月下旬



自社カレンダー

株主メモ

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先）0120-782-031（平日 9:00～17:00）
（インターネットホームページURL）https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

新しい価値の創造によるSDGsの推進

Next200 2017-2025-2035 | SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社は、2020年7月にSDGs宣言し、SDGsが掲げる17の目標と「Next200」に掲げている当社の重点経営課題への取り組みを改めて整理し、事業を通じてSDGsの達成に向けて、真摯に取り組んでいくことで持続可能な社会の実現に貢献します。